

令和8年度

# 知立東小学校の教育



知立東小学校は、昭和42年4月の開校以来60年目を迎えました。国や地域の景気の変動、知立団地に住む人々の変化などの影響を受けて、児童数の増減や外国人児童の増加などの変遷を繰り返してきました。本校は、「ねばり強い、心豊かな、自立の気構えをもった子の育成」をめざして教育活動に取り組んできました。また、地域の文化や交流の一つの拠点としての役割を果たしていくために、積極的に地域連携を進めています。



希望の像

## 教育目標

校訓 『なかよく、つよく、こんきよく』 を基底とし、「ねばり強い、心豊かな、自立の気構えをもった子」の育成をめざす。

### 校訓

なかよく  
つよく  
こんきよく



### めざす子どもの姿

- ・思いやりのある子
- ・きまりを守る子
- ・じょうぶなからだの子
- ・自立の気構えをもった子
- ・ねばり強く考え、学ぶ子
- ・よく働く子

## 経営方針

職員の共通理解と協力体制のもと、多文化共生の校風づくりとキャリア教育を基盤として、確かな学力と豊かな感性の育成を図り、「生きる力」を支える知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざした教育を進める。

### ○児童

- ・自ら学ぶ態度を育成し、基礎基本の定着を図る。また学習者自身による個別最適な学びをめざす。
- ・体験的な学習や表現的な活動を重視し、思考力・応用力・多様な考えを生かし合う態度の育成を図る。
- ・児童の優れた個性を伸ばすとともに、公共の精神を尊び、自他の敬愛と協力する心を養う。
- ・健康と安全に対する意識を高め、たくましく生きるための心と体を育成する。

### ○職員

- ・教育専門職としての自覚と資質の向上に努め、人権感覚を磨き、情熱と意欲、創意をもって活力のある教育活動を推進する。
- ・児童理解に努め、一人一人の子どもに寄り添ったきめ細かな指導、支援の仕方を工夫する。
- ・業務の見直しを絶えず行い、教育成果の向上と教職員の多忙化解消の改善の両立をめざす。

### ○家庭・地域

- ・家庭や地域との連携を積極的に図り、信頼される学校づくりを進めるとともに、学校評価を経営に活かしていく。

## 本年度の重点努力目標

確かな学力

共生・連携

健康・安全

## 共生教育・キャリア教育を基盤にした教育活動

自ら伸びようとする子どもたちの育成と、一人一人の子どもに寄り添い、支えることができる教職員集団



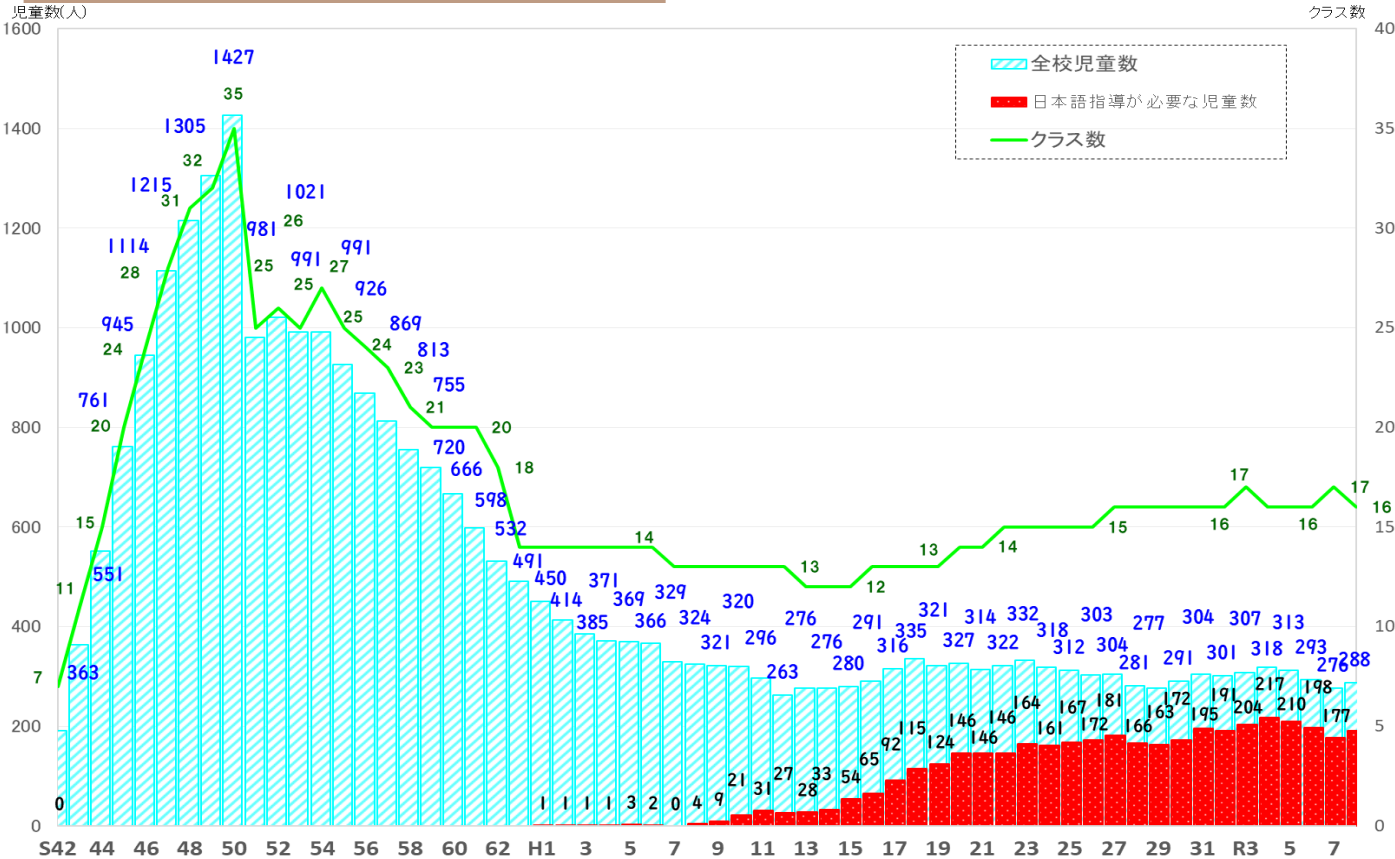
- ア 生きる力の育成をめざし、確かな学力を育てる指導と評価の工夫をする。
- イ 教員の資質・能力の向上に努める。
- ウ 自己肯定感を高め、対人関係でしなやかな共生の心、豊かな心を養う。
- エ 地域社会と学校との協力体制を築く。
- オ 心身を鍛え、たくましく生きるための健康や体力を養う。
- カ 安心で安全な教育環境づくりに努める。

### 児童数（5月1日現在）（人）

※きめ細かな日本語指導を行うため、日本語加配を活用して2年生は複数担任制による少人数指導を行う。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	わかば 1組	わかば 2組	わかば 3組	わかば 4組	わかば 5組	計
1組	24	34	18	23	21	25	8	8	8	4	4	<b>全校 288名</b> うち日本語指導が 必要な児童数 202名 (約70%)
2組	25		19	22	21	24						
計	49	34	37	45	42	49	32					

### 児童数クラス数の推移（5月1日現在）



## 東小の特色ある教育活動

### <多文化共生、共生教育、キャリア教育>

＊「一人一人の違いを生かす広い視野と心豊かな感性をもち、夢や目標をもってたくましく生きる子」の育成をめざしています。

### <きめ細かな指導>

＊児童数に比べ教員数が多い特徴(教員の加配)を生かし、たくさんの教員で、全校児童一人一人にきめ細かな指導を行っています。

### <指導形態別グループ学習(国語)・習熟度別グループ学習(算数)>

＊全学年の学級を解体し、日本語の語彙力や算数の習熟度に応じて3～4つのグループ(のぞみ・ひかり・こだま)に分け、指導しています。国語のこだまグループでは、リライト教材を活用して指導しています。

### <日本語教育の充実>

＊本校には、多くの外国人児童が在籍していますが、授業はすべて日本語で行っています。

＊「学校の教育活動全体を通しての日本語指導」の充実を図っています。

### <知立市魅力ある学校設計事業>

＊日本語指導学習サポートによる、外国人児童の支援を行っています。

### <大学との連携>

＊愛知教育大学生による2・3年児童への算数指導(マスマス教室)を年間12回程、進めています。

＊多文化共生の推進について、大学教員から指導を受けて、進めています。

### <ランランタイム>

＊朝の活動の時間を活用して、低・中・高学年ごとに体力づくり(なわとび、ランニング)活動をしています。

### <地域との絆を育む活動>

#### ○地域とともにあるコミュニティ・スクール

＊学校行事だけでなく、様々な教育活動で東っ子サポーターの方とのかかわりを通して、多文化共生社会をたくましく生きる東っ子を育てていきます。

#### ○東っ子サポーター

＊地域の方を東っ子サポーターとして受け入れ、スクールサポーター、おやじの会に加えて、サッカーやミシン等の授業補助、ポルトガル語や英語、日本語等の多言語読み聞かせなど、子どもたちのためにお力添えをいただき、子どもたちの成長のために欠かせない取り組みの一つになっています。

#### ○東っ子カーニバル

＊年に1回、地域の方などを講師に講座を開設し、地域とのつながりを深めています。

#### ○地域課題や地域に根ざした学習

＊児童が総合的な学習の時間で、地域ならではの課題やその解決方法等を発信したり、地域に働く人々に焦点を当てて地域にかける思いや活動について学び、次への活動に活かしたりしています。

## 知立市早期適応指導教室(かきつばた教室)

知立市では、平成20年度から日本語教育が必要な児童生徒に対して、初期の日本語教育や小中学校への適応指導を行う早期適応教室(かきつばた教室)を本校内に設置し、小中学生への早期の指導を行っています。また、令和6年9月から中学生用の早期適応教室(花しょうぶ教室)を知立南中学校内に設置し、中学生への早期指導を行っています。

適応指導の内容は(1)初期の日本語指導(2)学校生活適応指導(3)早期に適応するための必要な支援であり、通室期間は3か月以内を目途としています。

## 本校の研究のあゆみ

昭和61年10月 市教委研究委嘱 研究発表会 『感動する子ども達をめざして』  
 平成7年10月 知立市学校保健大会で学校保健会委嘱の研究実践を発表  
 『自分の体を知り、ひとつかかわりながら、健康な生活を実践できる子の育成』  
 平成9年10月 市教委研究委嘱 研究発表会 『自分の考えを持ち、ねばり強く追究し、表現できる子の育成』  
 平成18年9月 市教委研究委嘱 研究発表会 『一人一人が輝き、地域とともに生きる東っ子』  
 平成21年5月 文部科学省 文部科学副大臣視察  
 平成22年1月 県議会 文教委員会視察  
 平成24年4月 県教委研究委託事業「絆を育む学校づくり推進事業」  
 平成26年4月 知立市学校保健会研究委嘱 『すっきり目覚めて、朝から元気な東っ子の育成』  
 平成28年10月 市教委研究委嘱 研究発表会 『自分に自信をもち、前を向いて生きる子』  
 令和元年6月 文部科学省 総合教育政策局・初等中等教育局 視察  
 11月 愛知県教育委員会 事務局・義務教育課 視察  
 令和2年1月 愛知県教育委員会教育長 視察  
 令和2年度～4年度 文部科学省委託事業「多文化共生に向けた日本語指導の充実に関する調査研究」  
 令和4年7月 愛知教育大学 学長 視察  
 令和4年10月 文部科学省 総合教育政策局 国際教育課 視察  
 令和4年11月 JICA 中部 所長他19名 視察研修  
 令和5年12月 総務省 自治行政局国際室 視察  
 令和7年3月 かながわ国際交流財団 視察

### 知立東小学校校歌

作詞 金田誠一  
 作曲 永見貞三

一 三河平野の まん中を

お日さまいつも 照らしだす  
 心をこめて みがきあう

みんなの学ぶ ここは知立  
 ああ 知立東小学校

二 めぐる団地の 空高く

小鳥のうたが とんでいく  
 元気にあふれ わきあがる

みんなの遊ぶ ここは知立  
 ああ 知立東小学校

三 色も香りも とりどりに

明るく強く 輪になって  
 あしたの道を うちひらく

みんなの育つ ここは知立  
 ああ 知立東小学校



都築泰彦氏 原作  
 富田 広氏 補作

## 知立市立知立東小学校

〒472-0011 知立市昭和9丁目1番地

電話 (0566) 81-3694

FAX (0566) 81-3676

E-mail [higashi@city.chiryu.ed.jp](mailto:higashi@city.chiryu.ed.jp)

H P <http://www.city.chiryu.ed.jp/chiryuhigashi/>